

研究チームの紹介コーナー

技術開発本部
研究企画グループ 企画チーム

私たち企画チームは、技術開発本部内の研究企画グループに属しています。技術開発本部内には、研究企画グループの他に電力技術研究所とエネルギー応用研究所があります。

メンバーは、岩月チーム長以下17名で構成され、工務、火力、配電、土木建築、原子力、通信、事務などさまざまな部門の出身者で構成されています。



後列左から：野田、西川、佐藤、杉山、川本、石黒、古田、鈴木、吉田
前列左から：林、野中、渡邊、岩月チーム長、石塚、成瀬、寺田、不破

1 業務の内容

企画チームの業務内容を大きく分けると以下の5つです。

- 研究企画（研究方針・計画の作成など）
- 研究管理（研究予算の管理など）
- 研究成果の普及（技術研究開発賞選考発表会の事務局など）
- 外部研究機関の窓口（電力共同研究の取りまとめ、中央電力協議会の対応窓口など）
- 社会経済の研究

また、社会情勢が著しく変化する昨今において、現場からの意見を取り入れ、いち早く研究開発にいかすことが、これからの企業活動においてますます重要となってきています。現場からの情報が研究所に迅速・豊富に入るためには、研究所が現場に対して出来ることを知っていただいたうえで、現場から頼りにされる必要があります。

研究所が出来ることを現場に知っていただくための手助けとして企画チームは、現場に対して研究所のPR活動を始めました。その一つの取組として、企画チームにおける事例を次に紹介します。

社内の現場に対する研究所のPR活動

現場と研究所間の情報伝達が円滑に進むよう支援する一貫として、研究所が現場へのお役だちをより一層強化することを目指し、実施しています。

まず手始めに企画チームでは、静岡・三重・長野の3支店において研究所のPRを実施しました。

この中では「現場の疑問、課題にお答えする研究所」と題し、研究所が現場に対してお役だちした事例(7件)を示しながら、メーカーと遜色のない技術力・保有する特殊技術をPRしました。

多くの方に研究所の業務について、興味を持っていただくとともに、普段、研究所と接することが少ない方からも、おどろきや貴重な意見をいただくことができました。

今回の実施により、現場と研究所の距離がさらに一層近くなるなどの効果も現れ、現場の方々に大変好評でした。今後も継続して現場を訪問し、研究所の活動内容を広くPRして、お互いの距離を縮めていきたいと考えています。

現場へのサポート

【原因不明事象の解析】
 要望事項：お客さまより「送電線から音が落ちてくる」との苦情あり、原因を特定してほしい

● 落下物の素性を分析
 一落下物は油ではなく、花粉。しかもハミツ成分を含む

ミツバチが足につけていた「花粉団子」が落下したものと判明

お客さまに説明し、理解を得られた

研究所は、自分には関係がない部署だと思っていないか？

研究所って、何をしているところ？

- 現場のニーズをくみ取り、それに応えるべく新技術や新製品を開発
- 現場の課題に対して、的確にサポート

技術開発分野の一例

- ・お客さまへの優れたサービスの提供に役立つ研究
- ・価格競争に打ち勝つ低コスト体制の確立に役立つ研究
- ・長期的な電力安定供給に役立つ研究
- ・環境保全に関する研究

支店説明会で使用した、研究所PR資料

2 今後の活動

技術開発本部では、研究員や職員が、お客さまのところで現場に向き、お役立ちを積み重ねることで、皆様からの信頼が一層得られるように、また、その結果として、色々な相談や情報交換を行い自然に人が集まってきてくださるよう、「人が集まる技術開発本部」を目指して業務を展開しています。

企画チームでは、この取り組みが一層活発になるように、両研究所と協力しながら、研究開発のサポート業務を進めていきます。